

語り合おう！精華町の未来デザイン



せいかカフェ・ラボ



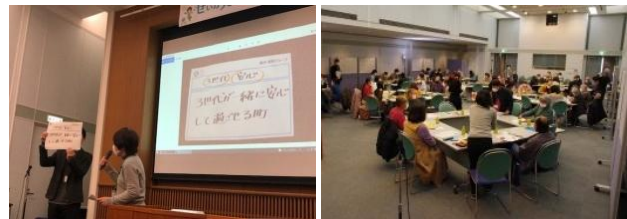
第2回 テーマ別ワークショップ 開催結果 「めざすまちの姿」を考えよう！

【日時】令和3年12月18日（土）13:30～16:00（開場：13:00）

【場所】精華町役場交流ホール 【出席者】39人（別途スタッフ24人）

■テーマ別のグループワークで「めざすまちの姿」を考える

参加者のみなさんが関心のあるテーマごとにグループに分かれ、それぞれのグループのテーマに沿って、10年後の「めざすまちの姿」を語っていただきました。そして最後に、全体発表で共有しました。



グループ名	キーワード	めざすまちの姿（ビジョン）
A 学研都市建設	交通	けいはんな新線を核とした面的発展を目指した交通整備
	景観	次世代へ引き継げる景観保全がされたまち（メンテナンス）
B 学研都市未来	学研都市のど真ん中	科学と伝統で進化を続け、他の地域の人々が来たくなるまち
	誰ひとり取り残さないコミュニケーション	子供から大人までみんなが夢を持てるまち
C 観光・産業	つながり・協働・連携	産業・観光・福祉・子育て等全ての分野でつながり、協働のある町
	活躍・場	遊び・働く・学び・スポーツ・伝統、活躍できる場所がある町
	3世代・安心	3世代が一緒に安心して過ごせる町
D 健康・福祉・生涯学習①	つながり	誰もが何でも参加できるまち
	支え合い	お互い支え合えるまち
	皆でワイワイ！	お酒!?が飲めてみんなでワイワイできる、よりどころがあるまち
	移動	行きたい所に行けるまち
E 健康・福祉・生涯学習②	医療	医療の充実した町
	健康づくり	食生活の充実、体力づくり、仲間づくりができる町
	支え合い	みんなでふれ合える孤立しない町
F 子育て・教育①	めざす町	子どもも大人も笑顔あふれ住みたい町
	支援（サポート体制）	町全体が家族な町
	体験	体験を通じて心が豊かになる町
G 子育て・教育②	積極性	自分たちが変えられるまち
	きずな	地域で見守るまち
	成長（せいちょう）	育ててよかったまち
	環境	自然を活かした環境のある町
H 安全・安心・コミュニティ	行事	個性が集まり、つくりあげるまち
	協働	おせっかいなまち
	安心・安全	明るくて、やさしいまち

各グループの付せんの主な内容

A：学研都市建設グループ

理念

昼間人口が増加する活力のある町

「発展」ではなく、「幸せ」に持続（収縮）できる町

改善されれば更に住み続けたい町

インフラ

移動しやすいまち

知的興味を満たしてくれるまち

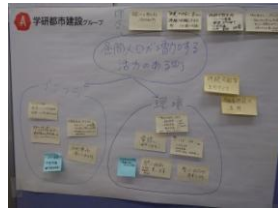
町内企業とのコラボレーション（研究機関）

環境

電線（鉄塔）と仲良く

自然（田、生き物、街路樹など）に価値を見出す

整ったまちなみ
清潔なまち



B：学研都市未来グループ

子どもたちが夢を持てるまち

子どもたちに未来の夢を自信をもって語れる町に

PISAの勧告に基づく世界一の教育改革を

子ども達が学び、運動能力を高めるように援助できる町

誰ひとりとり残さないコミュニケーション

将来について2～3年に一度会合を持つ

すべての住民がデジタル社会に乗り遅れない町に

皆がリテラシーのあるまち

来たくなるまち

楽しみながら毎日歩ける夢のある町に

そうだ！！
精華町に〇〇をしにいこう！と来たくなる町

カルチャー（伝統）

科学は人文・自然の区別がないことを推進できる町

町にある伝統があらわになるように

学研都市の特色

国家プロジェクトの大きなテーマを持つこと

科学は難しいものではなく、夢を実現するまちと知っているまち



E：健康・福祉・生涯学習②グループ

交通「移動しやすい町」

免許を安心して返納できる町

誰もが移動しやすいまち



医療「医療の充実した町」

施設に入らなくても家で全てのケアができる町

病気やケガをした時にすぐに対応してくれる



健康「健康で体力作りできる町」

プールのあるまち

専門の施設などに行かなくても気楽に体を動かせるまち

健康づくりに配慮した町づくり

交流「ふれあいの町」

子どもと大人がふれあえるまち

1週間に1回でも出で行ける場がある町

世代間交流のできる町づくり
孤立させない

お年寄り子ども達の交流の場がある

F：子育て・教育①グループ

支援（サポート体制）・まち全体が家族な町

お母ちゃん応援の場づくり

子育て中の家族のお手伝いがちょこっとできるつながりを

自分のスキルを発揮したくなるまち（しやすいまち）

体験・体験を通じて心豊かになる町

リスク体験（火を使う、包丁を使う等）の学びを支援

けいはんな公園で森の幼稚園ができています

子どもが子どもを支援する町

めざす町・子どもも大人も笑顔あふれ住みたい町

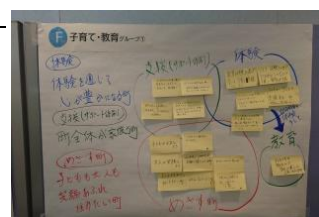
子どもが生まれたら戻ってきたい町

二世帯・三世帯が笑顔で子育てしている町

子どもたちが更に小さい先生、親、ソーシャルへ自慢できるまち

教育（自分自身が体験をして）

子どもたちが学校って楽しいと思ってる町



C：観光・産業グループ

学び

育てる喜び、作る喜びを感じ農業が継続できる

小学生にこのまちの事を知ってもらう機会を増やす

精華町の伝統・歴史がつながっていく

遊び

地域には子どもの達の声が聞こえ、老若男女活気がある

高齢者も子どもも、誰もが交流できる施設がある

遊べる（楽しめる）場がある

働き

認知症や障害があっても、生きがいを感じて働ける

高齢者やハンディある人が“働く（働ける）場”がある

観光・産業団体とつながりができ、地域貢献ができる



D：健康・福祉・生涯学習①グループ

社会保障 まち全体

いつまでも健康で福祉・医療の充実したまちづくり

福祉サービスを自由に選択しやすいまち

地域間でのサロン活動を進める

町内会での困りごとを助け合える

ボランティア・支え合いのまち

喜びを分かちあえるボランティア制度の確立

誰でも困っている時に“困っている”と言えるまち

高齢者・障がい者にタクシー券を配布する町

一人で車椅子で移動できる歩道づくり

つながり・誰もが何でも参加できるまち

高齢者がいきいき活動できる町

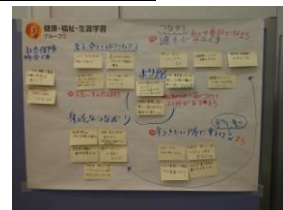
障がい者になっても、コミュニケーションを図れるまち

健康ポイントカードいっぱい使えたらいいな～

お酒が飲めて、皆でワイワイより所があるまち

みんなが集まれる場所。おしゃべりしたい！

町内に簡単に訪れて楽しく話ができる場所が欲しい



G：子育て・教育②グループ

きずな（地域で見守るまち）

商店の人と子どもが友達なまち

人との壁を作らないまち



成長（育ってよかったまち）

親になる準備が出来るまち

里帰り出産をしようと思えるまち

子ども達が大人になった時、恩返ししたいと思えるまち

環境（自然を活かした環境のあるまち）

水・土・風に触れられるまち

川で遊べるまち

カブトムシ、クワガタムシを捕まえられるまち

積極性（自分達が変わられるまち）

他の学校と交流して学習できて、皆が友達になれるまち

大人が働いている事を子どもが見られる・感じられる町

子ども達のチャレンジを支える町

年齢の違う友達と遊ぶまち

H：安全・安心・コミュニティグループ

安心・安全

自宅で最後を迎えられるまち

夜に安全な町、青色LED街灯

何かが起こった時に近所で助け合える災害に強い町

行事

乳幼児から高齢者までが協力して何かを作り上げるまち

中高生が町づくりや地域行事に関わる

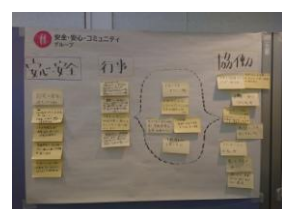
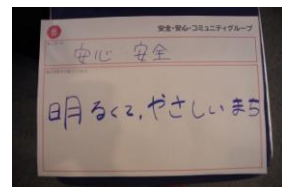
協働

困っていることを出しやすいまち

行事・協働

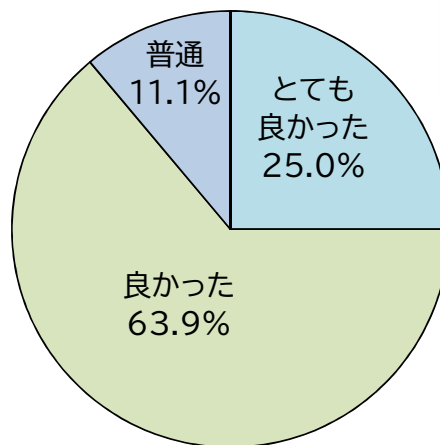
いろんな区の人達が交流する機会が多いまち

生きてゆく力をつけてゆく、学校教育を充実



■参加者アンケート

「せいかカフェ・ラボ」の満足度
(SA, n=36)



参加者の約89%が「良かった」

【感想等】

- ・ パーテーションがなくなり話しやすかった。
- ・ 世代を超えて話し合えることができてよかった。
- ・ グループの皆さんと楽しく交流できて嬉しかった。
- ・ 様々なバックグラウンドを持つ人たちのいろんな意見・経験を聞いて、とても面白かった。
- ・ テーマ別でのディスカッションができたのでより特化した議論になった。同じテーマで今後もせいかカフェ・ラボが開催されると聞いたので楽しみに参加させていただく。
- ・ 多くの参加者が精華町に対して熱い思いを持っておられると感じた。活発な議論ができて良かったです。各分野からの報告は多くの気付きがあった。
- ・ 付箋が足りないぐらい、アイデアが浮かんだ。もっと欲しかった。
- ・ 欠席者の関係でグループの人数が3人だったので少し意見が広がりにくかった。

